

第27回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第27回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、検討テーマを「2030年度におけるエネルギー需給の見通しを踏まえた今後の地方の取組」、サブテーマを「再生可能エネルギーの更なる普及促進に向けて」として、議論を行いました。
- 今回の研究会では、最初に、経済産業省 資源エネルギー庁 総務課 戦略企画室の西田室長から、「エネルギー政策について」と題して、御講演をいただきました。
講演では、第6次エネルギー基本計画について、2050年カーボンニュートラルに向けた長期展望や、それを踏まえた2030年度に向けた政策対応など、今後の方向性について御教授いただきました。
今後の地方の取組を考える上でも、貴重な情報を御提供いただけたと、西田室長には感謝しております。
- 次に、事務局から「福岡県における再生可能エネルギーの導入状況」について、説明がありました。
- 次に、北九州市 港湾空港局 エネルギー産業拠点化推進室 エネルギー産業拠点化推進課の川崎風力発電担当係長から、「風力発電関連産業の総合拠点の形成を目指して」と題して、北九州市の港湾区域で進められている取組について、情報提供していただきました。
- 次に、株式会社アズマ 代表取締役の中島氏から、「LED'S (Local Energy Direct Supply)」について、御講演をいただきました。
講演では、太陽光発電と蓄電池を活用した地域におけるエネルギーの地産地消の取組について御紹介いただくなど、再生可能エネルギーの更なる普及促進を考える上で、大変有益なお話をいただきました。
- 次に、これらの講演・報告を基に、再生可能エネルギーの更なる普及促進に向けた地方の取組について委員間で討議を行いました。
- 各委員からの積極的な意見・助言により、「2030年度におけるエネルギー需給の見通しを踏まえた今後の地方の取組」として、再生可能エネルギーの更なる普及促進に向けた取組の方向性が示されましたので、県をはじめ各主体におかれては、今後の取組に活かしていただきたいと思いますと考えております。